

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																											
文化服装学院		昭和51年6月1日		学院長 相原 幸子		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																											
学校法人文化学園		昭和26年3月5日		理事長 濱田 勝宏		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																											
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																																										
服飾・家政	ファッション流通専門課程	ファッション流通科 スタイリストコース				平成26年文部科学省 告示第6号																																											
学科の目的	本学院は、学校教育法に基づき、服飾に関する専門知識・技術を教授研究し、服飾教育界・産業界に貢献するとともに、実際生活に必要な高度の技術と教養を備えた創造性豊かな人材を育成することを目的とする。																																																
認定年月日	平成27年2月17日																																																
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																										
	2年 昼間		2070時間	1110時間	480時間	480時間	0時間	0時間																																									
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																											
590人		111人	15人	3人	3人	6人																																											
学期制度	■前期:4月1日~9月20日 ■後期:9月21日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験・平常成績・課題評価・授業姿勢などを基に総合評価する																																												
長期休み	■夏季:7月16日~9月5日 ■冬季:12月16日~1月9日 ■春季:3月15日~4月5日			卒業・進級条件	履修規定単位取得の充足、必須科目の履修認定、学年修了の必須単位数の取得																																												
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・長期欠席者への連絡・相談・指導対応等クラス担任が行う。 ・カウンセリング室常設(指導員が対応)			課外活動	■課外活動の種類 ・学生会専門委員会(学生自治組織) ・文化祭実行委員会 ・国内外のコンテスト等 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に係る令和2年5月1日時点の情報)																																												
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) (株)エアークローゼット、エイチ・アンド・エム ヘネス・アンド・マウリッツ・ジャパン(株)、(株)オンワード樫山、(株)クリエイティブギルド、(株)サンエー・ビーディー等			主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級</td> <td>③</td> <td>104</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0	日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級	③	104	83
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																																												
	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級	③	0		0																																												
	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級	③	0		0																																												
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	0		0																																												
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0		0																																												
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0		0																																												
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0		0																																												
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0	0																																														
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0																																														
日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級	③	104	83																																														
■就職指導内容 キャリア開発授業、就職特別講義、就労体験型インターンシップ、全体就職ガイダンス、個別指導(就職相談・書類添削・面接練習)																																																	
■卒業生数 : 102 人																																																	
■就職希望者数 : 72 人																																																	
■就職者数 : 52 人																																																	
■就職率 : 72.2 %																																																	
■卒業者に占める就職者の割合 : 51.0 %																																																	
■その他 ・進学者数: 11人																																																	
(令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)																																																	
■中途退学者 平成31年4月1日時点において、在学者108名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者104名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由		1名		■中退率 0.9 %																																													

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。  
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの  
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの  
③その他(民間検定等)

■自由記述欄  
(例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

中途退学の現状	<p>進路変更</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 再入学・転科の実施</p>
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有</p> <p>※有の場合、制度内容を記入      新生奨学金(減免)、特別優秀者の為の奨学金(減免)、専攻科進学者の為の奨学金(減免)      すみれ会(卒業生の会)奨学金(給付)</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象</p> <p>※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載      (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
当該学科のホームページURL	<p><a href="https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/stylist-course/">https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/stylist-course/</a></p>

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

文化服装学院の教育理念に基づき、各科の目的に合わせてカリキュラム編成を実施し、企業との連携科目による職業教育を行っている。連携科目については、アパレル産業界の状況や教育課程編成委員会での企業委員からの提言をふまえて設置している。

連携授業では、アパレル産業界の現場で行われている実際の仕事を反映した実習・演習を実施し、実践的な技術習得をさせて成績評価を行っている。

連携企業の選定については、当学院の教育理念をご理解いただき、積極的に実践教育を行っていただける企業と連携することを基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

文化服装学院は、学校運営に関する事項の最終議決機関であるグループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、教育課程編成委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。教育課程のカリキュラムの編成、実施及び改善に関する事項について、関連分野の企業・団体等との連携・協働を高め、助言を得るための機関として教育課程編成委員会を置いている。委員会は、各科のカリキュラムの編成、実施及び改善について検証、助言を行うことになっている。

企業等の外部委員による意見を有効に活用するため、教職員委員は、学院長、グループ長、事務局長など幹部教職員と、各課程から選出されている教職員で委員会を構成している。

教育課程編成委員会での意見、提言は内部の教育課程編成委員会において検討され、各科課程・科によるカリキュラム策定に反映していくことになっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

◆企業等委員

名 前	所 属	任 期	種 別
須賀 俊行	一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 人財育成委員会 人事小委員会委員 株式会社ルックホールディングス 人事総務部 人事課 課長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	①
伊藤 智之	株式会社オンワード樫山 生産購買本部 生産技術部 技術開発課 プロダクトチーフ 繊維製品品質管理士 パタンナー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
青砥 厚二	株式会社ユーストン 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
石津 壘	有限会社石津事務所	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田中 和安	株式会社ユナイテッドアローズ 上席執行役員 第一事業本部 副本部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
満留 京一	株式会社バスターズカンパニー 取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
河野 彰太	株式会社ビーエーシー・アーバンプロジェクト プロジェクト開発室 チーフコンサルタント	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
太田 伸之	株式会社MD03 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
横山 裕	株式会社桑山 商品開発部デザイン課 デザイナー(前デザイン課課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
金子 朗子	エース株式会社 MD本部 デザインセンターデザイン課 マネージャー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田島 智司	株式会社リーガルコーポレーション 開発設計部 設計課 課長代理	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③

◆教職員委員

相原 幸子	学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
野中 慶子	副学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
門井 緑	第1グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
西平 孝子	第2グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

野原 美香	第3グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
宮原 勝一	第4グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
山田 とし子	第5グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
大津 公幸	教育課程編成委員会委員長(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
川井 佐江子	教育課程編成委員会副委員長(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
伊藤 望	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
竹内 宏明	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菅井 正子	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 麻衣	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉岡 君恵	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
御田 昭子	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中澤 咲恵	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 明彦	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
松本 一代	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中野 麗子	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菊池 明子	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
杉山 美和	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
小林 克也	教育課程編成委員会委員(学生課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
浜田 法子	教育課程編成委員会委員(教務二課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
須藤 久栄	教務部長・教務一課長・生涯学習部部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
渡井 邦重	学務部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉野 真文	学園就職支援室室長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年 6月27日 17:00～19:00

第2回 令和元年11月28日 17:00～19:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ・ECサイト関係業務の増加傾向の対応を目的として、物撮りの授業を強化する。
- ・スタイリストとして感性や体力を磨く内容にしつつ、ビジネスマナーを身につけ即戦力となる人間力の強化する。
- ・カメラワークの授業の内容の再検討。企画力、構成力、構図などのバランス力の強化。チームでのコミュニケーション能力の強化。
- ・インターンシップでの現場実習を行い、実際の仕事を体験する事により、就職先でのミスマッチの無いようにする。
- ・ディレクションワークの授業において、コミュニケーション力、企画力、プレゼンテーション力と説得力の強化をする。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携による実習・演習は、基礎的なカリキュラムを修学した後が有効であるとの考えから、実施時期は2年次以降とすることを基本としている。企業等の現場で実際に働いている方々より直接指導を受け、実習、演習を行う事により、実践的な知識・技術の習得を行う。同時に企業の現場でなければ得られない緊張感等から、実習内容以外の成果を挙げることも期待している。

以上を前提として、実習には担任または担当教員が同行し、単なる授業の委託とならないよう配慮をしている。

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ファッション流通科スタイリストコースにおいてはスタイリストを養成するという観点から、メイクの学習は必須である。機材や材料の進化が著したため、使用方法を理解する必要があり、化粧品会社から派遣された講師による授業を行っている。プロの指導によるメイクアップの実習を行うことで、トータルでスタイリングできるスタイリストの育成を目指す。成績評価については、連携企業による作品評価や、実習への参加意欲などにより、期末および年度末に行う成績評価(AA～Fの5段階評価)の一部としている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
ヘア・メイク	企業と連携して、プロのメイクアップアーティストが実際に現場で使用している用具の取り扱い方やイメージ別メイクの特徴とテクニックを学び、実践技術を身に付け、トータルコーディネートの可能性を広げる。	株式会社資生堂
パーソナルカラー	色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場で活用する「似合う色」の習得を目指す。外見の色素による理論的なアプローチ方法を学び、似合う色を見分ける色感を身につけ、スタイリングスキルの応用力向上を図る。	色彩活用研究所株式会社

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「ファッション流通科スタイリストコース」はクライアントのニーズに即したスタイリングやディレクションが提案でき、現場での仕事の手順を理解したスタイリスト(スタイリストアシスタント)の養成を行っている。そのため指導教員は最新のトレンドに即した高い商品知識を有し、撮影等の現場での実務を熟知したうえで、それを伝える指導力が求められる。指導教員はスタイリストの実務を学生に指導するために、今後学生が師事する可能性のある個人で活動するスタイリストや、就職先ともなる企業に属するスタイリストにアシスタントとして就き、商品の借用から撮影、返却までの実務研修を定期的に行っている。

またトレンド情報の収集にも努めている。加えて「人間力」、「指導力」の向上を目的とした研修を継続的に行っている。専門技術修得のための研修は、研究企画委員会が「研究企画委員会規程」に基づき、教員の知識や技術の向上と実務能力の向上を目指して毎年度研修を企画し、企業等から講師を招いて実施している。この研修については学校が研修費用を助成し実施するものと、個々のスキルに合わせ研修内容を教員個人が選定し実施するものがある。

指導力向上を目的とした研修は、一定の就業年数に達した教員に向け、学院事務局教務部が主催し、「教員研修規程」及び「教員の海外研修及び国内研修に関する規程」に基づき、指導力の向上・役割認識・資質の向上を目的として実施している。

また「文化学園職員研修規程」に基づき文化学園総務本部人事厚生課が研修を主催している。新入職員研修会では学園職員としての基本的知識や学園の歴史と現状、就業規則及び諸規則の理解、社会人としてのマナー等の内容の研修を実施している。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

当該学科では各種媒体や状況におけるスタイリングに必要な知識・技術と実務現場における対応力を身に付けた人材を育成する学科である。

高い商品知識はもとより、現場で生じる様々な事例を認識し、対応力を得るために定期的な実務研修を行う。また、衣裳縫製、お直しを担う事ができるよう裁縫技術の向上にも努めている。

研修名: 東京都写真美術館 「イメージを読むー写真の時間」展

(連携企業等: 東京都写真美術館学芸員 榊田 言葉 氏)

期間: 令和元年11月1日(金)

対象: ファッション流通科2年スタイリストコース専任教員

内容: 写真と時間、メディア自体が内包している普遍的な物語について

研修名: 美術アカデミー&スクール 社会学とアート

(連携企業等: 東京芸術大学准教授 林 卓行 氏)

期間: 令和元年12月1日(日)

対象: ファッション流通科2年スタイリストコース専任教員

内容: 社会がアートに何を求めてきたか、社会の動向によって決まるアートの価値づけの基準を探る

研修名: 学校法人 文化学園 図書館主催 トレンドセミナー

(連携企業等: TREND UNION 家安 香 氏)

期間: 令和2年2月21日(金)

対象: ファッション流通科2年スタイリストコース専任教員

内容: ファッション予測情報誌 トレンドユニオンセミナー

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「文化服装学院主催 中堅教員研修会「新任指導力」について」

(連携企業等: 船越園社(職業教育)、文化学園(文化教育)、(その他)講師)

<p>(連携企業等:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 (IUE財団)講師 )  期間:令和元年8月22日(木)、23日(金)  対象:ファッション流通科2年スタイリストコース専任教員1名  内容:新任指導育成のための目標管理能力/新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける</p>
<p>研修名:「研究企画委員会 研修会 GoogleClassroom概要紹介、カレンダー活用方法」  (連携企業等:文化学園 IT 戦略室 勝畑 尚貴 氏 )  期間:令和元年9月4日(水)  対象:本学全教職員  内容:Classroomの概要、申請について</p>
<p>研修名:「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」  (連携企業等:文化学園大学 教授 学生生活支援室 室長 菊住 彰 氏)  期間:令和元年12月9日(月)  対象:本学全教職員  内容:私たちのそばにあるパワハラ — 働く意欲をたもっていますか</p>
<p>研修名:「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」  (連携企業等:公益財団法人21世紀職業財団 講師)  期間:令和元年12月11日(水)  対象:本学全教職員  内容:キャンパスにおけるハラスメント防止のために講演</p>
<p>研修名:「薬物乱用防止について」  (連携企業等:東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課 職員)  期間:令和元年12月19日(木)  対象:本学全教職員  内容:薬物汚染の実態や薬物の種類、入手方法、薬物乱用の兆候など</p>
<p>(3) 研修等の計画  ① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名: 逗子アートフィルム現代美術講義 アートが神経を持ったら  (連携企業等:東京造形大学 特任教授 沖 啓介 氏)  期間:令和2年8月29日(土)  対象:ファッション流通科2年スタイリストコース専任教員  内容:エレクトロニクアート、メディアデザインなどの分野で国際的に活役するアーティストによる現代美術の講義</p>
<p>研修名: 色彩学会教材研究会 メディアデザインの色彩  (連携企業等:東京造形大学 特任教授 沖 啓介 氏)  期間:令和2年9月26日(土)  対象:ファッション流通科2年スタイリストコース専任教員  内容:色彩検定 公式テキスト改定内容対応 色彩学の教授法について</p>
<p>研修名:「ファッションワールド東京 2021秋冬 シーズントレンドセミナー」  (連携企業等:f.f.b.株式会社 取締役 ビジュアル・アドバイザー 木村 麗 氏)  期間:令和2年10月27日(火)  対象:ファッション流通科2年スタイリストコース専任教員  内容:インスタ写真の撮り方【続編】いいね数5倍、売上も5倍に！</p>
<p>研修名:「ファッションワールド東京 2021秋冬 インスタグラムセミナー」  (連携企業等:伊藤忠ファッションシステム株式会社 第1ディビジョン マーケティング開発第2グループ シニアプロジェクトマネジャー 浅沼 小優 氏)  期間:令和2年10月27日(火)  対象:ファッション流通科2年スタイリストコース専任教員  内容:ウィメンズ、メンズアパレルのシルエットや素材、カラー等にフォーカスした内容</p>

研修名:「ファッション・トレンド速報セミナー 2021春夏4都市コレクション」  
(連携企業等:ファッションジャーナリスト 藤岡 篤子 氏)  
期間:令和2年10月28日(水)  
対象:ファッション流通科2年スタイリストコース専任教員  
内容:コレクション・トレンド分析について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「知財を知る。知財で稼ぐ。(オンデマンド配信)」  
(連携企業等:独立行政法人 工業所有権情報・研修館)  
期間:令和2年10月9日(金)  
対象::本学全教職員  
内容::知的財産権の概要等を項目別に分類しオンライン上で視聴



4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

文化服装学院は、グループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、学校関係者評価委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。自己点検・評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関と位置付けている。委員会は、本学院が実施した自己点検・評価の結果について、検証・評価及び助言を行い、その結果を自己点検・評価規程に基づき、公表するものとしている。委員は、外部委員のみで構成され、本学院の教育理念・目標について理解し、人材育成等に有識のある学外の関係者の中から学院長が選考し、委嘱している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	文化服装学院の教育理念、人材育成像
(2) 学校運営	法人組織、事務職員の組織、教員の組織、意思決定機関、委員会組織
(3) 教育活動	学校のカリキュラム編成、課程・教科のカリキュラム編成状況、授業研究、ファッション流通科スタイリストコースのカリキュラム編成状況、授業研究、学外授業、学校行事、課外活動、退学者への対策
(4) 学修成果	教育・成績評価
(5) 学生支援	キャリア支援、資格取得支援、学生相談体制、経済支援・健康管理
(6) 教育環境	教室・講義室・実習室・研究室・事務室の整備・使用状況、機材・備品の管理状況、附属機関・施設
(7) 学生の受入れ募集	学生募集の状況、広報活動
(8) 財務	財務状況
(9) 法令等の遵守	法令遵守の状況・ハラスメント対策、諸規程の制定、学則、細則、内規等の整備、個人情報の保護
(10) 社会貢献・地域貢献	活動への支援状況、公開講座・教育訓練等
(11) 国際交流	留学生の受け入れ状況、合作校・提携校の状況、外部団体・機関との連携

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

2020年度は、2019年度の自己点検・評価報告書を資料として関係教職員との意見交換も含め、学校関係者評価委員会において外部評価を実施した。

学校関係者評価委員会は、本学院の教育活動の課題等の明確化に努めることを目的とし、本学院では指摘事項、提言を、同年及び次年度以降の教育活動その他の学校運営の改善に活用するために方策を検討し、実施に努めている。

2020年度の第1回学校関係者評価委員会は2020年10月20日(火)に開催し、委員会の活動方針、自己典型・評価の取り組み・評価項目・重点目標の説明、委員と関係教職員における質疑応答を行った。

第2回の委員会は、2020年12月18日(金)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い対面での実施を見送り、事前に文書で提出いただいていた各委員からの評価表をもとに意見をとりまとめた。

【本学院並びに本学科に対する評価および提言は以下の通りである】

1.ファッションを取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、教育内容等を見直すアクションを行っていくことを期待する。

2.法令遵守、ハラスメント防止の取り組みについては、概ね進んでいる。今後も世の中の動向を注視し、意識付け、啓もう活動を続けていくことが大切である。

3.ファッションを通じた社会貢献活動を継続していくにあたり、持続化に向けた仕組みづくりが求められる。

4.附属機関・施設や学生生活サポートなど、教育・学修支援の取り組みは充実しており評価できる。研究・対外活動による成果を、カリキュラム、授業に取り入れるスキームの構築に期待する。

5.就職先として、既存のファッション、アパレル業界のみならず、社会の多様性に対応し、新たな業態業種の開拓とそれに対応したキャリア教育の構築といった、視野を広げた取り組みに期待する。

6.随時カリキュラム編成の見直しをするスキームがあり、実践的なカリキュラムで学生のモチベーションアップが図られており評価できる。

7.活発な学外活動は重要な取り組みであるが、本分である学業との参加学生におけるバランス、教員への負担など様々な観点から検証、吟味し、継続していくことが必要である。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
----	----	----	----

徳岡 敬也	株式会社トークス 代表取締役 文化ファッション大学院大学専任教授	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼有識者
芦川 照和	株式会社SUNデザイン研究所 プロデューサー	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
中本 文太	株式会社TSIホールディングス 管理本部 人事部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
松本 ルキ	株式会社オールファッションアート研究所	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
木島 広	株式会社フクル 代表取締役 人事部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
矢野 剛	株式会社織研新聞社 取締役 編集局長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	関連業界委員兼有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
(~~ホームページ~~ ・ 広報誌等の刊行物 ・ ~~その他~~(冊子を発行。教職員・学校関係者評価委員等、また希望者に配布)  
)  
[https://www.bunka-fc.ac.jp/\\_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf](https://www.bunka-fc.ac.jp/_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf)  
公表時期: 令和3年2月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  
ホームページによる情報提供を基本としている。ホームページは企業等のみを対象とせず、視覚的効果を意識した構成となっているが、ガイドラインに沿った項目を列記したページ(下記URL)を設け、当該項目の情報に遷移する仕組みとなっている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校の概要」
(2) 各学科等の教育	ホームページ「各学科の教育」
(3) 教職員	ホームページ「教職員」
(4) キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「キャリア教育・実践的職業教育」
(5) 様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校行事・課外活動」
(6) 学生の生活支援	ホームページ「学生支援」
(7) 学生納付金・修学支援	ホームページ「学生納付金・修学支援」
(8) 学校の財務	ホームページ「財務」
(9) 学校評価	ホームページ「学校評価」
(10) 国際連携の状況	ホームページ「国際連携の状況」
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(~~ホームページ~~ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL:<https://www.bunka-fc.ac.jp/about/outline/>

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																																										
文化服装学院		昭和51年6月1日	学院長 相原 幸子		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																										
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																																										
学校法人文化学園		昭和26年3月5日	理事長 濱田 勝宏		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																										
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																										
服飾・家政	ファッション流通専門課程	ファッション流通科 ショップスタイリストコース		平成26年文部科学省 告示第6号																																											
学科の目的	ファッション業界における流通産業において、専門店、セレクトショップ、百貨店、雑貨店など様々な業態ライフスタイルまで含めたトータルなスタイリング提案と適切なアドバイスをできる感性豊かな販売ができる人材の育成を目的とする。																																														
認定年月日	平成27年2月17日																																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																								
2年	昼間	2010時間	810時間	750時間	450時間	0時間	0時間																																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																									
570人		106人	4人	3人	2人	5人																																									
学期制度	■前期:4月1日～9月20日 ■後期:9月21日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験・平常成績・課題評価・授業姿勢などを基に総合評価する																																										
長期休み	■夏季:7月16日～9月5日 ■冬季:12月16日～1月9日 ■春季:3月15日～4月5日			卒業・進級条件	履修規定単位取得の充足、必須科目の履修認定、学年修了の必須単位数の取得																																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・長期欠席者への連絡・相談・指導対応等クラス担任が行う。 ・カウンセリング室常設(指導員が対応)			課外活動	■課外活動の種類 ・学生会専門委員会(学生自治組織) ・文化祭実行委員会 ・国内外のコンテスト等 ■サークル活動: 有																																										
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) アディダスジャパン(株)、(株)エイ・ネット、LVMHファッション・グループ・ジャパン(株)ロエベ ジャパン、(株)ケリングジャパンイヴ・サンローランデビジョン等			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者にに関する令和2年5月1日時点の情報)																																										
	■就職指導内容 キャリア開発授業、就職特別講義、就業体験型授業、就労体験型インターンシップ、全体就職ガイダンス、個別指導(就職相談・書類添削・面接練習)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本フォーマル協会主催 フォーマルスベシヤリスト検定準2級</td> <td>③</td> <td>69</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0	日本フォーマル協会主催 フォーマルスベシヤリスト検定準2級	③	69	62
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																																										
	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級	③	0		0																																										
	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級	③	0		0																																										
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	0		0																																										
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0		0																																										
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0		0																																										
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0		0																																										
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0		0																																										
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0																																												
日本フォーマル協会主催 フォーマルスベシヤリスト検定準2級	③	69	62																																												
■卒業者数	70	人																																													
■就職希望者数	53	人																																													
■就職者数	47	人																																													
■就職率	88.7	%																																													
■卒業者に占める就職者の割合																																															
	67.1	%																																													
■その他 ・進学者数:	4人																																														
(令和元年度卒業者にに関する令和2年5月1日 時点の情報)																																															
中途退学の現状	■中途退学者 7名		■中退率 8.7%																																												
平成31年4月1日時点において、在学者79名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者70名(令和2年3月31日卒業者をを含む) ■中途退学の主な理由 学業不振、経済的な理由																																															

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する記載する。  
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの  
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの  
③その他(民間検定等)

■自由記述欄  
(例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

	<p>■中退防止・中退者支援のための取組 再入学・転科の実施</p>
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 ※有の場合、制度内容を記入      新生奨学金(減免)、特別優秀者の為の奨学金(減免)、専攻科進学者の為の奨学金(減免)      すみれ会(卒業生の会)奨学金(給付)</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象      ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無      ※有の場合、例えば以下について任意記載      (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
当該学科のホームページURL	<p><a href="https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/shopstylist-course/">https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/shopstylist-course/</a></p>

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

文化服装学院の教育理念に基づき、各科の目的に合わせてカリキュラム編成を実施し、企業との連携科目による職業教育を行っている。連携科目については、アパレル産業界の状況や教育課程編成委員会での企業委員からの提言をふまえ設置している。

連携授業では、アパレル産業界の現場で行われている実際の仕事を反映した実習・演習を実施し、実践的な技術習得をさせて成績評価を行っている。

連携企業の選定については、当学院の教育理念をご理解いただき、積極的に実践教育を行っていただける企業と連携することを基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

文化服装学院は、学校運営に関する事項の最終議決機関であるグループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、教育課程編成委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。教育課程のカリキュラムの編成、実施及び改善に関する事項について、関連分野の企業・団体等との連携・協働を高め、助言を得るための機関として教育課程編成委員会を置いている。委員会は、各科のカリキュラムの編成、実施及び改善について検証、助言を行うことになっている。

企業等の外部委員による意見を有効に活用するため、教職員委員は、学院長、グループ長、事務局長など幹部教職員と、各課程から選出されている教職員で委員会を構成している。

教育課程編成委員会での意見、提言は内部の教育課程編成委員会において検討され、各科課程・科によるカリキュラム策定に反映していくことになっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

◆企業等委員

名前	所属	任期	種別
須賀 俊行	一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 人財育成委員会 人事小委員会委員 株式会社ルックホールディングス 人事総務部 人事課 課長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	①
伊藤 智之	株式会社オンワード樫山 生産購買本部 生産技術部 技術開発課 プロダクトチーフ 繊維製品品質管理士 パタンナー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
青砥 厚二	株式会社ユーストン 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
石津 壘	有限会社石津事務所	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田中 和安	株式会社ユナイテッドアローズ 上席執行役員 第一事業本部 副本部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
満留 京一	株式会社バスターズカンパニー 取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
河野 彰太	株式会社ビーエーシー・アーバンプロジェクト プロジェクト開発室 チーフコンサルタント	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
太田 伸之	株式会社MD03 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
横山 裕	株式会社桑山 商品開発部デザイン課 デザイナー(前デザイン課課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
金子 朗子	エース株式会社 MD本部 デザインセンターデザイン課 マネージャー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田島 智司	株式会社リーガルコーポレーション 開発設計部 設計課 課長代理	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③

◆教職員委員

相原 幸子	学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
野中 慶子	副学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
門井 緑	第1グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
西平 孝子	第2グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
野原 美香	第3グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

宮原 勝一	第4グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
山田 とし子	第5グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
大津 公幸	教育課程編成委員会委員長(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
川井 佐江子	教育課程編成委員会副委員長(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
伊藤 望	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
竹内 宏明	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菅井 正子	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 麻衣	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉岡 君恵	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
御田 昭子	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中澤 咲恵	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 明彦	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
松本 一代	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中野 麗子	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菊池 明子	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
杉山 美和	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
小林 克也	教育課程編成委員会委員(学生課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
浜田 法子	教育課程編成委員会委員(教務二課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
須藤 久栄	教務部長・教務一課長・生涯学習部部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
渡井 邦重	学務部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉野 真文	学園就職支援室室長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、11月)

教育課程編成委員会は、原則として企業等委員を含めた委員会を年2回以上開催することとし、令和元年度の開催日時  
は下記のとおりである。委員会は各科ごとの分科会形式で実施しており、より綿密な意見交換を行い、各科の特長を活  
かしたカリキュラムの設定および新規科目の開設や授業方法の改善、工夫を目指している。

(開催日時(実績))

第1回 令和元年 6月27日 17:00～19:00

第2回 令和元年11月28日 17:00～19:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①カリキュラムの見直し

- ・ファッションマーケティングの内容をビジュアルマーチャンドライジングの授業に一部落とし込み、ターゲットに合わせた店づくりの展開、見せ方、並べ方を企画する。
- ・セールスプロモーション演習の単位を削減し、SNSやブログの活用を特別講義として取り入れる。

②今後の検討事項

- ・国家資格「接客販売技能検定」受験対応の授業を検討する。実施団体との情報交換を行う。
- ・複数接客対応能力、ファーストアプローチ力の強化、チームビルディング、電話対応能力等に対応したカリキュラムの検討を行う。
- ・産学連携プログラムの実施内容の検討

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携による実習・演習は、基礎的なカリキュラムを修学した後が有効であるとの考えから、実施時期は2年次以降とすることを基本としている。企業等の現場で実際に働いている方々より直接指導を受け、実習、演習を行う事により、実践的な知識・技術の習得を行う。同時に企業の現場でなければ得られない緊張感等から、実習内容以外の成果を挙げることも期待している。

以上を前提として、実習には担任または担当教員が同行し、単なる授業の委託とならないよう配慮をしている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ファッション流通科ショップスタイリストコースにおいてはショップスタッフを養成するという観点から、企業で社員教育向けに行われている販売サービスの研修カリキュラムを取り入れ実践的な授業を行うとともに、コーディネートの提案に必須である色彩感覚の向上を目指し、「パーソナルカラー検定」を実施している。企業より講師を招き、コーディネートを意識した色彩の実習を行っている。成績評価については、連携企業による作品評価や、連携企業からの聞き取りによる試験出題などを行い、期末および年度末に行う成績評価（AA～Fの5段階評価）の一部としている。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
接客実務	三越伊勢丹で行っている販売サービスを講義と実践で学ぶことで、将来のショップスタイリストになるための意識づけとファッション業界で働くための即戦力となる人材を育成する。	株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ
パーソナルカラー	1年次の色彩理論・配色作品作りをもとに、ファッション業界の現場、特に販売接客面での「似合う色」の活用を目標に、色を理論的、具体的にアドバイスするビジネススキルを習得する。	色彩活用研究所 株式会社サミュエル

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「ファッション流通科ショップスタイリストコース」はファッション分野の小売りにおいて、質の高い接客対応のできるファッションアドバイザーとして活躍するための実務と基礎知識を学び、即戦力として販売の現場で活躍できる人材の養成を行っている。そのため指導教員は、接客実務、高い商品知識、コーディネート提案力を有し、それを学生に伝え導く力が求められる。

顧客満足度を上げるためには、顧客の要望を引き出す傾聴力も重要であり、顧客への適切なアドバイスを行うことのできる接客力を指導していくため、学生の就職先ともなるアパレル企業の売り場での研修を定期的に行っている。またファッションビジネスの現状を把握しておく必要もあるため、学会等へ参加し情報の収集に努めている。加えて「人間力」、「指導力」の向上を目的とした研修を継続的に行っている。

専門技術修得のための研修は、研究企画委員会が「研究企画委員会規程」に基づき、教員の知識や技術の向上と実務能力の向上を目指して毎年度研修を企画し、企業等から講師を招いて実施している。この研修については学校が研修費用を助成し実施するものと、個々のスキルに合わせ研修内容を教員個人が選定し実施するものがある。

指導力向上を目的とした研修は、一定の就業年数に達した教員に向け、学院事務局教務部が主催し、「教員研修規程」及び「教員の海外研修及び国内研修に関する規程」に基づき、指導力の向上・役割認識・資質の向上を目的として実施している。

また「文化学園職員研修規程」に基づき文化学園総務本部が研修を主催している。新入職員研修会では学園職員としての基本的知識や学園の歴史と現状、就業規則及び諸規則の理解、社会人としてのマナー等の内容の研修を実施している。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

当該学科は顧客との接し方、コーディネート提案力、高い商品知識を身に付けた顧客が満足いく対応のできる販売員を育成する学科である。

そのため指導教員は商品知識の向上と、接客現場で生じる様々な事例への対応力を修得するため、学生の就職先でもある企業での実務研修を定期的に行っている。

研修名:「公開講座 集合型研修プログラムビジネスマナー研修」

(連携企業等:株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ 講師)

期間:令和元年10月8日(火)

対象:ファッション流通科2年ショップスタイリストコース専任教員1名

内容:好印象を与える身だしなみ/笑顔の挨拶/社会人としての所作/言葉遣い/電話対応について

研修名:「ビジネスマナー研修」

(連携企業等:株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ 講師)

期間:令和元年11月12日(火)

対象:ファッション流通科2年ショップスタイリストコース専任教員1名

内容:ビジネスマナーの基本

研修名:「販売実務研修」

(連携企業等:ワールドストアパートナーズ 新宿京王スーナウーナ店舗)

期間:令和元年12月20日(金)

対象:ファッション流通科2年ショップスタイリストコース専任教員1名

内容:実店舗での販売研修

研修名:学校法人 文化学園 図書館主催 トレンドセミナー

(連携企業等:TRADING MANGA 富田 香子氏)



(連携企業等: TREND UNION 冢女 倉 氏)  
期間: 令和2年2月21日(金)  
対象: ファッション流通科2年ショップスタイリストコース専任教員  
内容: ファッション予測情報誌 トレンドユニオンセミナー

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「研究企画委員会 研修会 GoogleClassroom概要紹介、カレンダー活用方法」  
(連携企業等: 文化学園 IT 戦略室 勝畑 尚貴 氏)  
期間: 令和元年9月4日(水)  
対象: 本学全教職員  
内容: Classroomの概要、申請について

研修名: 「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」  
(連携企業等: 文化学園大学 教授 学生生活支援室 室長 菊住 彰 氏)  
期間: 令和元年12月9日(月)  
対象: 本学全教職員  
内容: 私たちのそばにあるパワハラ — 働く意欲をたもっていますか

研修名: 「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」  
(連携企業等: 公益財団法人21世紀職業財団 講師)  
期間: 令和元年12月11日(水)  
対象: 本学全教職員  
内容: キャンパスにおけるハラスメント防止のために講演

研修名: 「薬物乱用防止について」  
(連携企業等: 東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課 職員)  
期間: 令和元年12月19日(木)  
対象: 本学全教職員  
内容: 薬物汚染の実態や薬物の種類、入手方法、薬物乱用の兆候など

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 「ファッションワールド東京 顧客満足セミナー」  
(連携企業等: メーカーズシャツ鎌倉 株式会社サダ・マーチャンダイジングリプレゼンタティブ  
執行役員 デジタルリテール本部 田原 和敏 氏)  
期間: 令和2年10月27日(火)  
対象: ファッション流通科2年ショップスタイリストコース専任教員  
内容: メーカーズシャツ鎌倉が打ち出す「新しい顧客体験」とは？

研修名: 「ファッションワールド東京 ECセミナー」  
(連携企業等: 株式会社ベイクルーズ 執行役員 EC統括 加藤 利典 氏)  
期間: 令和2年10月28日(水)  
対象: ファッション流通科2年ショップスタイリストコース専任教員  
内容: ベイクルーズが実現するECと 店舗の垣根を超えたユニファイド コマース戦略

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「知財を知る。知財で稼ぐ。(オンデマンド配信)」  
(連携企業等: 独立行政法人 工業所有権情報・研修館)  
期間: 令和2年10月9日(金)  
対象: 本学全教職員  
内容: 知的財産権の概要等を項目別に分類しオンライン上で視聴

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

文化服装学院は、グループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、学校関係者評価委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。自己点検・評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関と位置付けている。委員会は、本学院が実施した自己点検・評価の結果について、検証・評価及び助言を行い、その結果を自己点検・評価規程に基づき、公表するものとしている。委員は、外部委員のみで構成され、本学院の教育理念・目標について理解し、人材育成等に有識のある学外の関係者の中から学院長が選考し、委嘱している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	文化服装学院の教育理念、人材育成像
(2) 学校運営	法人組織、事務職員の組織、教員の組織、意思決定機関、委員会組織
(3) 教育活動	学校のカリキュラム編成、課程・教科のカリキュラム編成状況、授業研究、ファッション流通科ショップスタイリストコースのカリキュラム編成状況、授業研究、学外授業、学校行事、課外活動、退学者への対策
(4) 学修成果	教育・成績評価
(5) 学生支援	キャリア支援、資格取得支援、学生相談体制、経済支援・健康管理
(6) 教育環境	教室・講義室・実習室・研究室・事務室の整備・使用状況、機材・備品の管理状況、付属機関・施設
(7) 学生の受入れ募集	学生募集の状況、広報活動
(8) 財務	財務状況
(9) 法令等の遵守	法令遵守の状況・ハラスメント対策、諸規程の制定、学則・細則、内規等の整備、個人情報の保護
(10) 社会貢献・地域貢献	活動への支援状況、公開講座・教育訓練等
(11) 国際交流	留学生の受け入れ状況、合作校・提携校の状況、外部団体・機関との連携

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

2020年度は、2019年度の自己点検・評価報告書を資料として関係教職員との意見交換も含め、学校関係者評価委員会において外部評価を実施した。

学校関係者評価委員会は、本学院の教育活動の課題等の明確化に努めることを目的とし、本学院では指摘事項、提言を、同年及び次年度以降の教育活動その他の学校運営の改善に活用するために方策を検討し、実施に努めている。

2020年度の第1回学校関係者評価委員会は2020年10月20日(火)に開催し、委員会の活動方針、自己典型・評価の取り組み・評価項目・重点目標の説明、委員と関係教職員における質疑応答を行った。

第2回の委員会は、2020年12月18日(金)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い対面での実施を見送り、事前に文書で提出いただいていた各委員からの評価表をもとに意見をとりまとめた。

【本学院並びに本学科に対する評価および提言は以下の通りである】

- 1.ファッションを取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、教育内容等を見直すアクションを行っていくことを期待する。
- 2.法令遵守、ハラスメント防止の取り組みについては、概ね進んでいる。今後も世の中の動向を注視し、意識付け、啓もう活動を続けていくことが大切である。
- 3.ファッションを通じた社会貢献活動を継続していくにあたり、持続化に向けた仕組みづくりが求められる。
- 4.付属機関・施設や学生生活サポートなど、教育・学修支援の取り組みは充実しており評価できる。研究・対外活動による成果を、カリキュラム、授業に取り入れるスキームの構築に期待する。
- 5.就職先として、既存のファッション、アパレル業界のみならず、社会の多様性に対応し、新たな業態業種の開拓とそれに対応したキャリア教育の構築といった、視野を広げた取り組みに期待する。
- 6.随時カリキュラム編成の見直しをするスキームがあり、実践的なカリキュラムで学生のモチベーションアップが図られており評価できる。
- 7.活発な学外活動は重要な取り組みであるが、本分である学業との参加学生におけるバランス、教員への負担など様々な観点から検証、吟味し、継続していくことが必要である。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
----	----	----	----

徳岡 敬也	株式会社トークス 代表取締役 文化ファッション大学院大学専任教授	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼有識者
芦川 照和	株式会社SUNデザイン研究所 プロデューサー	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
中本 文太	株式会社TSIホールディングス 管理本部 人事部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
松本 ルキ	株式会社オールファッションアート研究所	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
木島 広	株式会社フクル 代表取締役 人事部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
矢野 剛	株式会社織研新聞社 取締役 編集局長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	関連業界委員兼有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
(~~ホームページ~~・広報誌等の刊行物・その他(冊子を発行。教職員・学校関係者評価委員等、また希望者に配布))

[https://www.bunka-fc.ac.jp/\\_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf](https://www.bunka-fc.ac.jp/_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf)

公表時期:令和3年2月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページによる情報提供を基本としている。ホームページは企業等のみを対象とせず、視覚的効果を意識した構成となっているが、ガイドラインに沿った項目を列記したページ(下記URL)を設け、当該項目の情報に遷移する仕組みとなっている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校の概要」
(2)各学科等の教育	ホームページ「各学科の教育」
(3)教職員	ホームページ「教職員」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「キャリア教育・実践的職業教育」
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校行事・課外活動」
(6)学生の生活支援	ホームページ「学生支援」
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「学生納付金・修学支援」
(8)学校の財務	ホームページ「財務」
(9)学校評価	ホームページ「学校評価」
(10)国際連携の状況	ホームページ「国際連携の状況」
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(~~ホームページ~~・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<https://www.bunka-fc.ac.jp/about/outline/>

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																													
文化服装学院		昭和51年6月1日		学院長 相原 幸子		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																													
学校法人文化学園		昭和26年3月5日		理事長 濱田 勝宏		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																													
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																																											
服飾・家政		ファッション流通専門課程		ファッション流通科 リテールプランニングコース		平成26年文部科学省 告示第6号																																													
学科の目的		ファッションビジネスにおける小売店舗の企画から運営までの基礎知識と実務を通じ、世界のファッション市場を見据えた営業戦略や店舗運営を語学力やコミュニケーションツールを活用した学習と合わせて、国際的感覚を持った人材育成を目的とする。																																																	
認定年月日		平成27年2月17日																																																	
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技																																							
2年		昼間		2070時間		1260時間		330時間		480時間		0時間		0時間																																					
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数																																									
620人		156人		28人		4人		3人		7人																																									
学期制度		■前期:4月1日~9月20日 ■後期:9月21日~3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験・平常成績・課題評価・授業姿勢などを基に総合評価する																																											
長期休み		■夏季:7月16日~9月5日 ■冬季:12月16日~1月9日 ■春季:3月15日~4月5日				卒業・進級条件		履修規定単位取得の充足、必須科目の履修認定、学年修了の必須単位数の取得																																											
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・長期欠席者への連絡・相談・指導対応等クラス担任が行う。 ・カウンセリング室常設(指導員が対応)				課外活動		■課外活動の種類 ・学生会専門委員会(学生自治組織) ・文化祭実行委員会 ・国内外のコンテスト等 ■サークル活動: 有																																											
就職等の状況※2		■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) (株)アンビデックス、(株)ジョイックスコーポレーション、(株)セディシヨナリーズ、(株)デイトナインターナショナル、(株)ノーリーズ等 ■就職指導内容 キャリア開発授業、就職特別講義、就業体験型授業、就労体験型インターンシップ、全体就職ガイダンス、個別指導(就職相談・書類添削・面接練習) ■卒業生数: 99人 ■就職希望者数: 70人 ■就職者数: 57人 ■就職率: 81.4% ■卒業者に占める就職者の割合: 57.6% ■その他 ・進学者数: 7人 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンキング技術検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンキング技術検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級</td> <td>③</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	日本ファッション教育振興協会主催 パターンキング技術検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 パターンキング技術検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	1	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0	日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級	③	3	3
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																																
日本ファッション教育振興協会主催 パターンキング技術検定2級	③	0	0																																																
日本ファッション教育振興協会主催 パターンキング技術検定3級	③	0	0																																																
日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	1	0																																																
日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0	0																																																
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0	0																																																
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0	0																																																
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0	0																																																
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0																																																
日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級	③	3	3																																																
中途退学の現状		■中途退学者 19名 平成31年4月1日時点において、在学者135名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者108名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学業不振、進路変更他、家庭の事情他				■中退率 14.1%																																													

	<p>■中退防止・中退者支援のための取組 再入学・転科の実施</p>
<p>経済的支援 制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 ※有の場合、制度内容を記入 新入生奨学金(減免)、特別優秀者の為の奨学金(減免)、専攻科進学者の為の奨学金(減免)、すみれ会(卒業生の会)奨学金(給付)</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
<p>第三者による 学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
<p>当該学科の ホームページ URL</p>	<p><a href="https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/retailplanning-course/">https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/retailplanning-course/</a></p>

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

文化服装学院の教育理念に基づき、各科の目的に合わせてカリキュラム編成を実施し、企業との連携科目による職業教育を行っている。連携科目については、アパレル産業界の状況や教育課程編成委員会での企業委員からの提言をふまえ設置している。

連携授業では、アパレル産業界の現場で行われている実際の仕事を反映した実習・演習を実施し、実践的な技術習得をさせて成績評価を行っている。

連携企業の選定については、当学院の教育理念をご理解いただき、積極的に実践教育を行っていただける企業と連携することを基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

文化服装学院は、学校運営に関する事項の最終議決機関であるグループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、教育課程編成委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。教育課程のカリキュラムの編成、実施及び改善に関する事項について、関連分野の企業・団体等との連携・協働を高め、助言を得るための機関として教育課程編成委員会を置いている。委員会は、各科のカリキュラムの編成、実施及び改善について検証、助言を行うことになっている。

企業等の外部委員による意見を有効に活用するため、教職員委員は、学院長、グループ長、事務局長など幹部教職員と、各課程から選出されている教職員で委員会を構成している。

教育課程編成委員会での意見、提言は内部の教育課程編成委員会において検討され、各科課程・科によるカリキュラム策定に反映していくことになっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

◆企業等委員

名前	所属	任期	種別
須賀 俊行	一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 人財育成委員会 人事小委員会委員 株式会社ルックホールディングス 人事総務部 人事課 課長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	①
伊藤 智之	株式会社オンワード樫山 生産購買本部 生産技術部 技術開発課 プロダクトチーフ 繊維製品品質管理士 パタンナー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
青砥 厚二	株式会社ユーストン 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
石津 壘	有限会社石津事務所	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田中 和安	株式会社ユナイテッドアローズ 上席執行役員 第一事業本部 副本部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
満留 京一	株式会社バスターズカンパニー 取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
河野 彰太	株式会社ビーエーシー・アーバンプロジェクト プロジェクト開発室 チーフコンサルタント	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
太田 伸之	株式会社MD03 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
横山 裕	株式会社桑山 商品開発部デザイン課 デザイナー(前デザイン課課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
金子 朗子	エース株式会社 MD本部 デザインセンターデザイン課 マネージャー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田島 智司	株式会社リーガルコーポレーション 開発設計部 設計課 課長代理	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③

◆教職員委員

相原 幸子	学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
野中 慶子	副学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
門井 緑	第1グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
西平 孝子	第2グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
野原 美香	第3グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

宮原 勝一	第4グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
山田 とし子	第5グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
大津 公幸	教育課程編成委員会委員長(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
川井 佐江子	教育課程編成委員会副委員長(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
伊藤 望	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
竹内 宏明	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菅井 正子	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 麻衣	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉岡 君恵	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
御田 昭子	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中澤 咲恵	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 明彦	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
松本 一代	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中野 麗子	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菊池 明子	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
杉山 美和	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
小林 克也	教育課程編成委員会委員(学生課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
浜田 法子	教育課程編成委員会委員(教務二課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
須藤 久栄	教務部長・教務一課長・生涯学習部部长	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
渡井 邦重	学務部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉野 真文	学園就職支援室室長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、11月)

教育課程編成委員会は、原則として企業等委員を含めた委員会を年2回以上開催することとし、令和元年度の開催日時  
は下記のとおりである。委員会は各科ごとの分科会形式で実施しており、より綿密な意見交換を行い、各科の特長を活  
かしたカリキュラムの設定および新規科目の開設や授業方法の改善、工夫を目指している。

(開催日時(実績))

第1回 令和元年 6月27日 17:00～19:00

第2回 令和元年11月28日 17:00～19:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ・ネットショップ実施期間の長期化を検討する
- ・Web Shopにてデジタル広告を実践することで、よりプロモーションの重要性を理解させる
- ・動画プロモーションに関する授業を特別講義などにより導入する

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携による実習・演習は、基礎的なカリキュラムを修学した後が有効であるとの考えから、実施時期は2年次以降とすることを基本としている。企業等の現場で実際に働いている方々より直接指導を受け、実習、演習を行う事により、実践的な知識・技術の習得を行う。同時に企業の現場でなければ得られない緊張感等から、実習内容以外の成果を挙げることも期待している。

以上を前提として、実習には担任または担当教員が同行し、単なる授業の委託とならないよう配慮をしている。

#### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ファッション流通科リテールプランニングコースにおいては、ファッションビジネスに必要となるセールスプロモーションやインターネットビジネスの活用方法を学ぶ為、講師を招いて実習を行っている。またバイイング業務に必須である色彩感覚の向上を目指し、「パーソナルカラー検定」を実施している企業より講師を招き、コーディネートを意識した色彩の実習を行っている。成績評価については、連携企業による作品評価や、連携企業からの聞き取りによる試験出題などを行い、期末および年度末に行う成績評価(AA～Fの5段階評価)の一部としている。



(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
インターネットビジネス	ファッションビジネスにおいて、インターネットの活用は必須となり、ブランディング、マーケティング、プロモーション、販売等、活用の方法が多岐にわたってきている。ブランドの戦略や成長に欠かすことのできないインターネットの活用を、ECを実際に構築したり、SNSを利用してプロモーションをしたりなど、実践からインターネットビジネスについて理解を深める。	BASE株式会社
パーソナルカラー	1年次の色彩理論・配色・作品作りなどで身につけたことをベースに、ファッション業界の現場でビジネススキルとして「パーソナルカラー(似合う色)」を活用するための実践を実習やロールプレイを織り交ぜながら学習・修得する。	色彩活用研究所 株式会社

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「ファッション流通科リテールプランニングコース」はファッション分野における小売り店舗の企画から運営のための基礎知識と実務を学び、即戦力として販売の現場で活躍できる人材の養成を行っている。そのため指導教員は、接客実務、店舗運営実務の最新状況を熟知していると共に、学生に伝え導く力が求められる。マーケティングに基づいたブランド計画、商品計画、顧客への適切なアドバイスを行うことのできる接客力を指導していくため、教員は常にトレンド情報の把握に努めるとともに、学生の就職先ともなるアパレル企業の売り場での研修を定期的に行っている。あわせて「人間力」、「指導力」の向上を目的とした研修を継続的に行う。専門技術修得のための研修は、研究企画委員会が「研究企画委員会規程」に基づき、教員の知識や技術の向上と実務能力の向上を目指して毎年度研修を企画し、企業等から講師を招いて実施している。この研修については学校が研修費用を助成し実施するものと、個々のスキルに合わせ研修内容を教員個人が選定し実施するものがある。指導力向上を目的とした研修は、一定の就業年数に達した教員に向け、学院事務局教務部が主催し、「教員研修規程」及び「教員の海外研修及び国内研修に関する規程」に基づき、指導力の向上・役割認識・資質の向上を目的として実施している。

また「文化学園職員研修規程」に基づき文化学園総務本部が研修を主催している。新入職員研修会では学園職員としての基本的知識や学園の歴史と現状、就業規則及び諸規則の理解、社会人としてのマナー等の内容の研修を実施している。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

当該学科ではリテールビジネスにおける「企画力」「交渉力」「発信力」を兼ね備えた人材を育成する学科である。学生は実習による体得と同時に、それを支える知識の修得も欠かせない。それらに対応するため指導教員は、リテールビジネスにおける最新の商品企画やマーケティング戦略、インターネットを活用した販売戦略やコミュニケーション手法の知識の修得と更新を行っている。

研修名:「藤岡篤子ファッショントレンド速報セミナー」

(連携企業等:株式会社 f プロジェクト 藤岡 篤子 氏)

期間:令和元年10月29日(火)

対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名

内容:2020年春夏 4都市コレクションセミナー

研修名:「第102回服飾ゼミナール」

(連携企業等:株式会社 drapology 代表 布田 尚大 氏)

期間:令和元年11月13日(水)

対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名

内容:課題解決とストーリーの先にあるアパレルブランドのあり方とは

研修名:「藤岡篤子ファッショントレンド速報セミナー」

(連携企業等:株式会社 f プロジェクト 藤岡 篤子 氏)

期間:令和2年3月26日(木)

対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名

内容:2020-21年秋冬 4都市コレクションセミナー

研修名:「アドビセミナー プランニングからデザインまで、社内コミュニケーションを円滑にするAdobe XD」  
(連携企業等:アドビ システムズ株式会社 マーケティングマネージャー 轟 啓介 氏)  
期間:令和2年6月17日(水)  
対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名  
内容:テレワーク時代を迎えて、XDを導入するメリット、ディレクターや制作者の負担を軽減し業務を改善するためのポイントなど、事例を交えながら紹介

研修名:「アドビセミナー New Normal 時代の中で、なぜいま UX を考える必要があるのか?」  
(連携企業等:アドビ システムズ株式会社 XDエバンジェリスト 三好 航一郎 氏)  
期間:令和2年7月22日(水)  
対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名  
内容:New Normal 時代に顧客との接点のデジタル化が進む中で、ますます重要になる体験の設計(UXデザイン)。なぜユーザーエクスペリエンスが重要なのかを紹介

## ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「文化服装学院主催 中堅教員研修会「新任指導力」について」  
(連携企業等:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 (TCE財団)講師 )  
期間:令和元年8月22日(木)、23日(金)  
対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名  
内容:新任指導育成のための目標管理力/新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける

研修名:「研究企画委員会 研修会 GoogleClassroom概要紹介、カレンダー活用方法」  
(連携企業等:文化学園 IT 戦略室 勝畑 尚貴 氏 )  
期間:令和元年9月4日(水)  
対象:本学全教職員  
内容:Classroomの概要、申請について

研修名:「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」  
(連携企業等:文化学園大学 教授 学生生活支援室 室長 菊住 彰 氏)  
期間:令和元年12月9日(月)  
対象:本学全教職員  
内容:私たちのそばにあるパワハラ — 働く意欲をたもっていますか

研修名:「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」  
(連携企業等:公益財団法人21世紀職業財団 講師)  
期間:令和元年12月11日(水)  
対象:本学全教職員  
内容:キャンパスにおけるハラスメント防止のために講演

研修名:「薬物乱用防止について」  
(連携企業等:東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課 職員)  
期間:令和元年12月19日(木)  
対象:本学全教職員  
内容:薬物汚染の実態や薬物の種類、入手方法、薬物乱用の兆候など

## (3) 研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「AXIS Forum 原点回帰vol.01 落合陽一」  
(連携企業等:メディアアーティスト 筑波大学 准教授 落合 陽一 氏)  
期間:令和2年8月17日(月)  
対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名  
内容:コロナによる変化をきっかけに変容する社会、自然観、これからの活動と未来について

研修名:「流通小売と消費のかたち ~Yappliオンラインセミナー「UCC上島珈琲のデジタル(DX)戦略・オフライン起点のOMO 施策とは?」

(連携企業等:株式会社メディアジーン DIGIDAY[日本版]編集長 長田 真 氏  
UCC上島珈琲株式会社 マーケティング本部デジタル推進部部長 染谷 清史 氏)

期間:令和2年8月25日(火)

対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名

内容:UCC上島珈琲のライフスタイルに合わせての客層設定、アプリの応用、実店舗とオンラインの連携について

研修名:「流通小売と消費のカタチ ~Yappliオンラインセミナー「ファッション・コスメ業界におけるパーソナライズ/オンラインの価値」

(連携企業等:株式会社INFASパブリケーションズ WWD JAPAN.com編集長 村上 要 氏

ロンシャン・ジャパン株式会社 マーケティング&コミュニケーション部 ディレクター 横島 愛弥 氏)

期間:令和2年8月25日(火)

対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名

内容:デジタル応用によりマーケティング戦略と応用について

研修名:「アドビセミナー 企業がますます動画内製化に取り組むべき理由第5回「動画内製化と編集アプリ」

(連携企業等:株式会社火燧 代表取締役 安部 貴士 氏)

期間:令和2年9月9日(水)

対象:ファッション流通科2年リテールプランニングコース専任教員1名

内容:動画内製化と編集アプリ

## ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「知財を知る。知財で稼ぐ。(オンデマンド配信)」

(連携企業等:独立行政法人 工業所有権情報・研修館)

期間:令和2年10月9日(金)

対象:本学全教職員

内容:知的財産権の概要等を項目別に分類しオンライン上で視聴

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

文化服装学院は、グループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、学校関係者評価委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。自己点検・評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関と位置付けている。委員会は、本学院が実施した自己点検・評価の結果について、検証・評価及び助言を行い、その結果を自己点検・評価規程に基づき、公表するものとしている。委員は、外部委員のみで構成され、本学院の教育理念・目標について理解し、人材育成等に有識のある学外の関係者の中から学院長が選考し、委嘱している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	文化服装学院の教育理念、人材育成像
(2) 学校運営	法人組織、事務職員の組織、教員の組織、意思決定機関、委員会組織
(3) 教育活動	学校のカリキュラム編成、課程・教科のカリキュラム編成状況、授業研究、ファッション流通科リテールプランニングコースのカリキュラム編成状況、授業研究、学外授業、学校行事、課外活動、退学者への対策
(4) 学修成果	教育・成績評価
(5) 学生支援	キャリア支援、資格取得支援、学生相談体制、経済支援・健康管理
(6) 教育環境	教室・講義室・実習室・研究室・事務室の整備・使用状況、機材・備品の管理状況、付属機関・施設
(7) 学生の受入れ募集	学生募集の状況、広報活動
(8) 財務	財務状況
(9) 法令等の遵守	法令遵守の状況・ハラスメント対策、諸規程の制定、学則、細則、内規等の整備、個人情報の保護
(10) 社会貢献・地域貢献	活動への支援状況、公開講座・教育訓練等
(11) 国際交流	留学生の受け入れ状況、合作校・提携校の状況、外部団体・機関との連携

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

2020年度は、2019年度の自己点検・評価報告書を資料として関係教職員との意見交換も含め、学校関係者評価委員会において外部評価を実施した。

学校関係者評価委員会は、本学院の教育活動の課題等の明確化に努めることを目的とし、本学院では指摘事項、提言を、同年及び次年度以降の教育活動その他の学校運営の改善に活用するために方策を検討し、実施に努めている。

2020年度の第1回学校関係者評価委員会は2020年10月20日(火)に開催し、委員会の活動方針、自己典型・評価の取り組み・評価項目・重点目標の説明、委員と関係教職員における質疑応答を行った。

第2回の委員会は、2020年12月18日(金)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い対面での実施を見送り、事前に文書で提出いただいていた各委員からの評価表をもとに意見をとりまとめた。

【本学院並びに本学科に対する評価および提言は以下の通りである】

1.ファッションを取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、教育内容等を見直すアクションを行っていくことを期待する。

2.法令遵守、ハラスメント防止の取り組みについては、概ね進んでいる。今後も世の中の動向を注視し、意識付け、啓もう活動を続けていくことが大切である。

3.ファッションを通じた社会貢献活動を継続していくにあたり、持続化に向けた仕組みづくりが求められる。

4.付属機関・施設や学生生活サポートなど、教育・学修支援の取り組みは充実しており評価できる。研究・対外活動による成果を、カリキュラム、授業に取り入れるスキームの構築に期待する。

5.就職先として、既存のファッション、アパレル業界のみならず、社会の多様性に対応し、新たな業態業種の開拓とそれに対応したキャリア教育の構築といった、視野を広げた取り組みに期待する。

6.随時カリキュラム編成の見直しをするスキームがあり、実践的なカリキュラムで学生のモチベーションアップが図られており評価できる。

7.活発な学外活動は重要な取り組みであるが、本分である学業との参加学生におけるバランス、教員への負担など様々な観点から検証、吟味し、継続していくことが必要である。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
----	----	----	----

徳岡 敬也	株式会社トークス 代表取締役 文化ファッション大学院大学専任教授	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼有識者
芦川 照和	株式会社SUNデザイン研究所 プロデューサー	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
中本 文太	株式会社TSIホールディングス 管理本部 人事部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
松本 ルキ	株式会社オールファッションアート研究所	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
木島 広	株式会社フクル 代表取締役 人事部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
矢野 剛	株式会社織研新聞社 取締役 編集局長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	関連業界委員兼有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(冊子を発行。教職員・学校関係者評価委員等、また希望者に配布))

[https://www.bunka-fc.ac.jp/\\_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf](https://www.bunka-fc.ac.jp/_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf)

公表時期: 令和3年2月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページによる情報提供を基本としている。ホームページは企業等のみを対象とせず、視覚的効果を意識した構成となっているが、ガイドラインに沿った項目を列記したページ(下記URL)を設け、当該項目の情報に遷移する仕組みとなっている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校の概要」
(2) 各学科等の教育	ホームページ「各学科の教育」
(3) 教職員	ホームページ「教職員」
(4) キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「キャリア教育・実践的職業教育」
(5) 様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校行事・課外活動」
(6) 学生の生活支援	ホームページ「学生支援」
(7) 学生納付金・修学支援	ホームページ「学生納付金・修学支援」
(8) 学校の財務	ホームページ「財務」
(9) 学校評価	ホームページ「学校評価」
(10) 国際連携の状況	ホームページ「国際連携の状況」
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL:<https://www.bunka-fc.ac.jp/about/outline/>

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																												
文化服装学院		昭和51年6月1日		学院長 相原 幸子		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																												
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																												
学校法人文化学園		昭和26年3月5日		理事長 濱田 勝宏		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																												
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																																											
服飾・家政	ファッション流通専門課程		ファッション流通科 ファッションメイクアップコース			平成26年文部科学省 告示第6号																																												
学科の目的	舞台、映画、テレビ、ファッション雑誌等多くのメディアに欠かせないメイキャップアーティスト。その中でヘアメイクに関する知識やテクニックの習得は重要となり、服飾、アクセサリとのトータルコーディネートと連動した発想と提案、また国際的にも運用するビジネスコミュニケーション能力を身に付け広く活躍できる人材育成を目的とする。																																																	
認定年月日	平成27年2月17日																																																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																																										
	2年 昼間	2010時間		960時間	600時間	450時間	0時間	0時間																																										
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数																																								
520人		26人		0人		2人		1人		3人																																								
学期制度	■前期:4月1日～9月20日 ■後期:9月21日～3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験・平常成績・課題評価・授業姿勢などを基に総合評価する																																											
長期休み	■夏 季:7月16日～9月5日 ■冬 季:12月16日～1月9日 ■春 季:3月15日～4月5日				卒業・進級条件		履修規定単位取得の充足、必須科目の履修認定、学年修了の必須単位数の取得																																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・長期欠席者への連絡・相談・指導対応等クラス担任が行う。 ・カウンセリング室常設(指導員が対応)				課外活動		■課外活動の種類 ・学生会専門委員会(学生自治組織) ・文化祭実行委員会 ・国内外のコンテスト 等 ■サークル活動: 有																																											
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) (株)IDA、(株)アイディーランドカンパニー、エイチ・アンド・エムヘネス・アンド・マウリッツ・ジャパン(株)、ロンシャン・ジャパン(株)等				主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																																											
	■就職指導内容 キャリア開発授業、就職特別講義、就労体験型インターンシップ、全体就職ガイダンス、個別指導(就職相談・書類添削・面接練習)						<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0	日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級	③	0	0
	資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																														
	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級	③	0	0																																														
	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級	③	0	0																																														
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	0	0																																														
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0	0																																														
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0	0																																														
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0	0																																														
	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0	0																																														
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0																																															
日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級	③	0	0																																															
■卒業者数		13人																																																
■就職希望者数		11人																																																
■就職者数		9人																																																
■就職率		81.8%																																																
■卒業者に占める就職者の割合		69.2%																																																
■その他 ・進学者数:		0人																																																
(令和 元 年度卒業生に関する 令和2年5月1日 時点の情報)																																																		
■中途退学者		8名		■中退率		36.4%																																												
平成31年4月1日時点において、在学者22名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者13名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、学業不振、他																																																		
中途退学の現状																																																		

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。  
 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの  
 ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの  
 ③その他(民間検定等)

■自由記述欄  
(例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

	<p>■中退防止・中退者支援のための取組 再入学・転科の実施</p>
<p>経済的支援 制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 ※有の場合、制度内容を記入 新入生奨学金(減免)、特別優秀者の為の奨学金(減免)、専攻科進学者の為の奨学金(減免)</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
<p>第三者による 学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
<p>当該学科の ホームページ URL</p>	<p><a href="https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/fashionmakeup-course/">https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/fashionmakeup-course/</a></p>

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

文化服装学院の教育理念に基づき、各科の目的に合わせてカリキュラム編成を実施し、企業との連携科目による職業教育を行っている。連携科目については、アパレル産業界の状況や教育課程編成委員会での企業委員からの提言をふまえて設置している。

連携授業では、アパレル産業界の現場で行われている実際の仕事を反映した実習・演習を実施し、実践的な技術習得をさせて成績評価を行っている。

連携企業の選定については、当学院の教育理念をご理解いただき、積極的に実践教育を行っていただける企業と連携することを基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

文化服装学院は、学校運営に関する事項の最終議決機関であるグループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、教育課程編成委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。教育課程のカリキュラムの編成、実施及び改善に関する事項について、関連分野の企業・団体等との連携・協働を高め、助言を得るための機関として教育課程編成委員会を置いている。委員会は、各科のカリキュラムの編成、実施及び改善について検証、助言を行うことになっている。

企業等の外部委員による意見を有効に活用するため、教職員委員は、学院長、グループ長、事務局長など幹部教職員と、各課程から選出されている教職員で委員会を構成している。

教育課程編成委員会での意見、提言は内部の教育課程編成委員会において検討され、各科課程・科によるカリキュラム策定に反映していくことになっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

◆企業等委員

名前	所属	任期	種別
須賀 俊行	一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 人財育成委員会 人事小委員会委員 株式会社ルックホールディングス 人事総務部 人事課 課長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	①
伊藤 智之	株式会社オンワード樫山 生産購買本部 生産技術部 技術開発課 プロダクトチーフ 繊維製品品質管理士 パタンナー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
青砥 厚二	株式会社ユーストン 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
石津 壘	有限会社石津事務所	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田中 和安	株式会社ユナイテッドアローズ 上席執行役員 第一事業本部 副本部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
満留 京一	株式会社バスターズカンパニー 取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
河野 彰太	株式会社ビーエーシー・アーバンプロジェクト プロジェクト開発室 チーフコンサルタント	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
太田 伸之	株式会社MD03 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
横山 裕	株式会社桑山 商品開発部デザイン課 デザイナー(前デザイン課課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
金子 朗子	エース株式会社 MD本部 デザインセンターデザイン課 マネージャー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田島 智司	株式会社リーガルコーポレーション 開発設計部 設計課 課長代理	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③

◆教職員委員

相原 幸子	学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
野中 慶子	副学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
門井 緑	第1グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
西平 孝子	第2グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
野原 美香	第3グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	



宮原 勝一	第4グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
山田 とし子	第5グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
大津 公幸	教育課程編成委員会委員長(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
川井 佐江子	教育課程編成委員会副委員長(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
伊藤 望	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
竹内 宏明	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菅井 正子	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 麻衣	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉岡 君恵	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
御田 昭子	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中澤 咲恵	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 明彦	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
松本 一代	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中野 麗子	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菊池 明子	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
杉山 美和	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
小林 克也	教育課程編成委員会委員(学生課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
浜田 法子	教育課程編成委員会委員(教務二課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
須藤 久栄	教務部長・教務一課長・生涯学習部部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
渡井 邦重	学務部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉野 真文	学園就職支援室室長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、11月)

教育課程編成委員会は、原則として企業等委員を含めた委員会を年2回以上開催することとし、令和元年度の開催日時は下記のとおりである。委員会は各科ごとの分科会形式で実施しており、より綿密な意見交換を行い、各科の特長を活かしたカリキュラムの設定および新規科目の開設や授業方法の改善、工夫を目指している。

(開催日時(実績))

第1回 令和元年 6月27日 17:00～19:00

第2回 令和元年11月28日 17:00～19:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・職業意識を持たせるための検討

特別講義の中で離職率を減らす目的の講義を行う

今年度は日程調整が出来なかったが次年度、4月～6月の就職活動期に合わせて開講できるよう調整していく

・ファッションのわかる文化服装学院オリジナルの美容部員を目指すために必要な課題として実現したこと

1. メイクアップ概論・演習をトータル4→6単位とし、化粧品企業やヘアメイクアーティストなどを調べ、プレゼンテーションを行うことで、互いの知識を共有し知識強化、ファッション商品論・演習Bの服作りの単位を3→2単位とし、1単位分をメイクアップ概論やファッション情報科目にトレンドやブランドの知識を取り入れ強化

2. 接遇・コミュニケーション力を高めるカリキュラムを検討プレゼンテーションなどを通し学びのアウトプットを促し、表現力を高めさせた

3. 化粧品検定、カラー検定の資格取得目標(化粧品検定2級取得試験を11月25日(土)実施)

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携による実習・演習は、基礎的なカリキュラムを修学した後が有効であるとの考えから、実施時期は2年次以降とすることを基本としている。企業等の現場で実際に働いている方々より直接指導を受け、実習、演習を行う事により、実践的な知識・技術の習得を行う。同時に企業の現場でなければ得られない緊張感等から、実習内容以外の成果を挙げることも期待している。

以上を前提として、実習には担任または担当教員が同行し、単なる授業の委託とならないよう配慮をしている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ファッション流通科ファッションメイクアップコースにおいては、全身のメイクが可能な人材を養成するという観点から、エステティックおよびネイルデザインの実習において企業と連携している。いずれも顧客に直接施術を行う分野であり、現場の経験が豊富な企業と連携するのが相応しいと考えエステサロンおよびネイルサロンを展開する企業と連携した。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
エステティック	企業との連携により、人間の表面の美しさだけでなく、内面の美しさをも引き出すことができる美容法として、エステティックを学んでいく。技術だけでなく、顧客に対して癒しと効果を提供することを学び、自らの心も成長させる。	株式会社イーズインターナショナル
ネイルデザイン	ネイルサロンが提案するネイルデザイン・テクニックを学び、新しいネイルデザイン発想提案する。	株式会社レスイズモア

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「ファッション流通科ファッションメイクアップコース」はトータルコーディネートの一環としてヘアメイクを学び、メイクの提案も含めた総合的なファッションにかかわるアドバイザーの養成を行っている。ヘアメイクの指導教員は外部の非常勤講師と連携して授業を行っている。

ファッションの流行に伴いメイクはトレンドに沿ったものが求められるが、その前提としてのT.P.O.に応じた基本となる技術を修得させることも重要である。

指導教員はコレクション等の最新情報の把握、高度なテクニックの修得・研鑽と、「人間力」、「指導力」の向上を目的とした研修を継続的に行う。

専門技術修得のための研修は、研究企画委員会が「研究企画委員会規程」に基づき、教員の知識や技術の向上と実務能力の向上を目指して毎年度研修を企画し、企業等から講師を招いて実施している。この研修については学校が研修費用を助成し実施するものと、個々のスキルに合わせ研修内容を教員個人が選定し実施するものがある。

指導力向上を目的とした研修は、一定の就業年数に達した教員に向け、学院事務局教務部が主催し、「教員研修規程」及び「教員の海外研修及び国内研修に関する規程」に基づき、指導力の向上・役割認識・資質の向上を目的として実施している。

また「文化学園職員研修規程」に基づき文化学園総務本部が研修を主催している。新入職員研修会では学園職員としての基本的知識や学園の歴史と現状、就業規則及び諸規則の理解、社会人としてのマナー等の内容の研修を実施している。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

当該学科ではファッションとメイクアップのトータルコーディネートを提案・表現できる人材の育成を行う学科である。メイクアップにおける技術力、トレンドのメイク技法の修得のため、化粧品メーカーで主催する技術研修会等へ参加し、技術の向上に努めている。

あわせて、コーディネートの観点からもファッション知識の向上にも努めている。

研修名:「イラストレーター・フォトショップ研修」

(連携企業等:文化服装学院 講師 高崎 利々子 氏)

期間:令和元年8月30日(金)

対象:ファッション流通科2年Fメイクアップコース専任教員2名

内容:Adobeイラストレーターとフォトショップの基本的な操作方法について

研修名:学校法人 文化学園 図書館主催 トレンドセミナー

(連携企業等:TREND UNION 家安 香 氏)

期間:令和2年2月21日(金)

対象:ファッション流通科2年Fメイクアップコース専任教員1名

内容:ファッション予測情報誌 トレンドユニオンセミナー

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「研究企画委員会 研修会 GoogleClassroom概要紹介、カレンダー活用方法」

(連携企業等:文化学園 IT 戦略室 勝畑 尚貴 氏)

期間:令和元年9月4日(水)

対象:本学全教職員

内容:Classroomの概要、申請について

研修名:「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」

(連携企業等:文化学園大学 教授 学生生活支援室 室長 菊住 彰 氏)

期間:令和元年12月9日(月)

対象:本学全教職員  
内容:私たちのそばにあるパワハラ — 働く意欲をたもてていますか

研修名:「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」  
(連携企業等:公益財団法人21世紀職業財団 講師)  
期間:令和元年12月11日(水)  
対象:本学全教職員  
内容:キャンパスにおけるハラスメント防止のために講演

研修名:「薬物乱用防止について」  
(連携企業等:東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課 職員)  
期間:令和元年12月19日(木)  
対象:本学全教職員  
内容:薬物汚染の実態や薬物の種類、入手方法、薬物乱用の兆候など

### (3) 研修等の計画

#### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「ファッションワールド東京 2021秋冬 シーズントレンドセミナー」  
(連携企業等:f.f.b.株式会社 取締役 ビジュアル・アドバイザー 木村 麗 氏)  
期間:令和2年10月27日(火)  
対象:ファッション流通科2年Fメイクアップコース専任教員  
内容:インスタ写真の撮り方【続編】いいね数5倍、売上も5倍に！

研修名:「ファッションワールド東京 2021秋冬 インスタグラムセミナー」  
(連携企業等:伊藤忠ファッションシステム株式会社 第1ディビジョン マーケティング開発第2グループ  
シニアプロジェクトマネジャー 浅沼 小優 氏)  
期間:令和2年10月27日(火)  
対象:ファッション流通科2年Fメイクアップコース専任教員  
内容:ウィメンズ、メンズアパレルのシルエットや素材、カラー等にフォーカスした内容

研修名:「日本化粧品技術者会 第47回研究会 オンラインセミナー」  
(連携企業等:ニッコールグループ 株式会社 コスモステクニカルセンター 清水 健司 氏  
資生堂グローバルイノベーションセンター 大澤 友 氏)  
期間:令和2年11月11日(水)  
対象:ファッション流通科2年Fメイクアップコース専任教員  
内容:日頃の研究・開発業務の推進に役立つ「技術の原石の磨き方・魅せ方」を学ぶ

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「知財を知る。知財で稼ぐ。(オンデマンド配信)」  
(連携企業等:独立行政法人 工業所有権情報・研修館)  
期間:令和2年10月9日(金)  
対象:本学全教職員  
内容:知的財産権の概要等を項目別に分類しオンライン上で視聴

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

文化服装学院は、グループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、学校関係者評価委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。自己点検・評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関と位置付けている。委員会は、本学院が実施した自己点検・評価の結果について、検証・評価及び助言を行い、その結果を自己点検・評価規程に基づき、公表するものとしている。委員は、外部委員のみで構成され、本学院の教育理念・目標について理解し、人材育成等に有識のある学外の関係者の中から学院長が選考し、委嘱している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	文化服装学院の教育理念、人材育成像
(2) 学校運営	法人組織、事務職員の組織、教員の組織、意思決定機関、委員会組織
(3) 教育活動	学校のカリキュラム編成、課程・教科のカリキュラム編成状況、授業研究、ファッション流通科ファッションメイクアップコースのカリキュラム編成状況、授業研究、学外授業、学校行事、課外活動、退学者への対策
(4) 学修成果	教育・成績評価
(5) 学生支援	キャリア支援、資格取得支援、学生相談体制、経済支援・健康管理
(6) 教育環境	教室・講義室・実習室・研究室・事務室の整備・使用状況、機材・備品の管理状況、付属機関・施設
(7) 学生の受入れ募集	学生募集の状況、広報活動
(8) 財務	財務状況
(9) 法令等の遵守	法令遵守の状況・ハラスメント対策、諸規程の制定、学則、細則、内規等の整備、個人情報保護
(10) 社会貢献・地域貢献	活動への支援状況、公開講座・教育訓練等
(11) 国際交流	留学生の受け入れ状況、合作校・提携校の状況、外部団体・機関との連携

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

2020年度は、2019年度の自己点検・評価報告書を資料として関係教職員との意見交換も含め、学校関係者評価委員会において外部評価を実施した。

学校関係者評価委員会は、本学院の教育活動の課題等の明確化に努めることを目的とし、本学院では指摘事項、提言を、同年及び次年度以降の教育活動その他の学校運営の改善に活用するために方策を検討し、実施に努めている。

2020年度の第1回学校関係者評価委員会は2020年10月20日(火)に開催し、委員会の活動方針、自己典型・評価の取り組み・評価項目・重点目標の説明、委員と関係教職員における質疑応答を行った。

第2回の委員会は、2020年12月18日(金)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い対面での実施を見送り、事前に文書で提出いただいていた各委員からの評価表をもとに意見をとりまとめた。

【本学院並びに本学科に対する評価および提言は以下の通りである】

1.ファッションを取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、教育内容等を見直すアクションを行っていくことを期待する。

2.法令遵守、ハラスメント防止の取り組みについては、概ね進んでいる。今後も世の中の動向を注視し、意識付け、啓もう活動を続けていくことが大切である。

3.ファッションを通じた社会貢献活動を継続していくにあたり、持続化に向けた仕組みづくりが求められる。

4.付属機関・施設や学生生活サポートなど、教育・学修支援の取り組みは充実しており評価できる。研究・対外活動による成果を、カリキュラム、授業に取り入れるスキームの構築に期待する。

5.就職先として、既存のファッション、アパレル業界のみならず、社会の多様性に対応し、新たな業態業種の開拓とそれに対応したキャリア教育の構築といった、視野を広げた取り組みに期待する。

6.随時カリキュラム編成の見直しをするスキームがあり、実践的なカリキュラムで学生のモチベーションアップが図られており評価できる。

7.活発な学外活動は重要な取り組みであるが、本分である学業との参加学生におけるバランス、教員への負担など様々な観点から検証、吟味し、継続していくことが必要である。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
----	----	----	----

徳岡 敬也	株式会社トークス 代表取締役 文化ファッション大学院大学専任教授	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼有識者
芦川 照和	株式会社SUNデザイン研究所 プロデューサー	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
中本 文太	株式会社TSIホールディングス 管理本部 人事部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
松本 ルキ	株式会社オールファッションアート研究所	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
木島 広	株式会社フクル 代表取締役 人事部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
矢野 剛	株式会社織研新聞社 取締役 編集局長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	関連業界委員兼有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物)その他(冊子を発行。教職員・学校関係者評価委員等、また希望者に配布)

[https://www.bunka-fc.ac.jp/\\_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf](https://www.bunka-fc.ac.jp/_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf)

公表時期:令和3年2月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページによる情報提供を基本としている。ホームページは企業等のみを対象とせず、視覚的効果を意識した構成となっているが、ガイドラインに沿った項目を列記したページ(下記URL)を設け、当該項目の情報に遷移する仕組みとなっている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校の概要」
(2)各学科等の教育	ホームページ「各学科の教育」
(3)教職員	ホームページ「教職員」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「キャリア教育・実践的職業教育」
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校行事・課外活動」
(6)学生の生活支援	ホームページ「学生支援」
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「学生納付金・修学支援」
(8)学校の財務	ホームページ「財務」
(9)学校評価	ホームページ「学校評価」
(10)国際連携の状況	ホームページ「国際連携の状況」
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他)

URL:<https://www.bunka-fc.ac.jp/about/outline/>

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																															
文化服装学院		昭和51年6月1日		学院長 相原 幸子		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																															
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																															
学校法人文化学園		昭和26年3月5日		理事長 濱田 勝宏		〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 (電話) 03-3299-2211																																															
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																																													
服飾・家政		ファッション流通専門課程		ファッション流通科 ファッションモデルコース		平成26年文部科学省 告示第6号																																															
学科の目的		ファッション産業における雑誌、テレビ、CM等のクロスメディアに幅広く活躍できるファッションモデルとしてファッションを理解し、スタイリング力と表現力を学び、外見のみならず内面からも表現できるための一般教養や国際マナー等を取り入れ、人間性豊かな人材の育成を目的とする。																																																			
認定年月日		平成27年2月17日																																																			
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技																																									
2年		2040時間		960時間		630時間		450時間		0時間		0時間																																									
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		時間																																									
520人		25人		2人		2人		1人		3人																																											
学期制度		■前期:4月1日~9月20日 ■後期:9月21日~3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験・平常成績・課題評価・授業姿勢などを基に総合評価する																																															
長期休み		■夏季:7月16日~9月5日 ■冬季:12月16日~1月9日 ■春季:3月15日~4月5日		卒業・進級条件		履修規定単位取得の充足、必須科目の履修認定、学年修了の必須単位数の取得																																															
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・長期欠席者への連絡・相談・指導対応等クラス担任が行う。 ・カウンセリング室常設(指導員が対応)		課外活動		■課外活動の種類 ・学生会専門委員会(学生自治組織) ・文化祭実行委員会 ・国内外のコンテスト等 ■サークル活動: 有																																															
就職等の状況※2		■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) (株)AOSTA、(株)アンビデックス、(株)イメージエンターテインメント、(株)スーパーウイング、(株)ソサエティオブスタイル等 ■就職指導内容 キャリア開発授業、就職特別講義、就労体験型インターンシップ、全体就職ガイダンス、個別指導(就職相談・書類添削・面接練習)		■卒業生数: 20人 ■就職希望者数: 14人 ■就職者数: 13人 ■就職率: 92.85714286% ■卒業者に占める就職者の割合: 65% ■その他 ・進学者数: 4人		主な学修成果(資格・検定等)※3		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級</td> <td>③</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級</td> <td>③</td> <td>16</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>						資格・検定名	種	受験者数	合格者数	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0	0	日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0	日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級	③	16	11
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																																		
日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定2級	③	0	0																																																		
日本ファッション教育振興協会主催 パターンメイキング技術検定3級	③	0	0																																																		
日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定2級	③	0	0																																																		
日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級	③	0	0																																																		
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定2級	③	0	0																																																		
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション色彩能力検定3級	③	0	0																																																		
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定2級	③	0	0																																																		
日本ファッション教育振興協会主催 ファッション販売能力検定3級	③	0	0																																																		
日本フォーマル協会主催 フォーマルスペシャリスト検定準2級	③	16	11																																																		
中途退学の現状		■中途退学者 平成31年4月1日時点において、在学者24名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者20名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学業不振、他 ■中退防止・中退者支援のための取組		4名		■中退率 16.7%		<p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当する記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>																																													

	再入学・転科の実施
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有</p> <p>※有の場合、制度内容を記入          新生奨学金(減免)、特別優秀者の為の奨学金(減免)、専攻科進学者の為の奨学金(減免)          すみれ会(卒業生の会)奨学金(給付)</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象</p> <p>※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載          (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/fashionmodel-course/">https://www.bunka-fc.ac.jp/course/fashionryuutsuusenmon-katei/fashionryuutsuu-ka/fashionmodel-course/</a>



1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

文化服装学院の教育理念に基づき、各科の目的に合わせてカリキュラム編成を実施し、企業との連携科目による職業教育を行っている。連携科目については、アパレル産業界の状況や教育課程編成委員会での企業委員からの提言をふまえて設置している。

連携授業では、アパレル産業界の現場で行われている実際の仕事を反映した実習・演習を実施し、実践的な技術習得をさせて成績評価を行っている。

連携企業の選定については、当学院の教育理念をご理解いただき、積極的に実践教育を行っていただける企業と連携することを基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

文化服装学院は、学校運営に関する事項の最終議決機関であるグループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、教育課程編成委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。教育課程のカリキュラムの編成、実施及び改善に関する事項について、関連分野の企業・団体等との連携・協働を高め、助言を得るための機関として教育課程編成委員会を置いている。委員会は、各科のカリキュラムの編成、実施及び改善について検証、助言を行うことになっている。

企業等の外部委員による意見を有効に活用するため、教職員委員は、学院長、グループ長、事務局長など幹部教職員と、各課程から選出されている教職員で委員会を構成している。

教育課程編成委員会での意見、提言は内部の教育課程編成委員会において検討され、各科課程・科によるカリキュラム策定に反映していくことになっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

◆企業等委員

名前	所属	任期	種別
須賀 俊行	一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 人財育成委員会 人事小委員会委員 株式会社ルックホールディングス 人事総務部 人事課 課長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	①
伊藤 智之	株式会社オンワード樫山 生産購買本部 生産技術部 技術開発課 プロダクトチーフ 繊維製品品質管理士 パタンナー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
青砥 厚二	株式会社ユーストン 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
石津 壘	有限会社石津事務所	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田中 和安	株式会社ユナイテッドアローズ 上席執行役員 第一事業本部 副本部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
満留 京一	株式会社バスターズカンパニー 取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
河野 彰太	株式会社ビーエーシー・アーバンプロジェクト プロジェクト開発室 チーフコンサルタント	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
太田 伸之	株式会社MD03 代表取締役	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
横山 裕	株式会社桑山 商品開発部デザイン課 デザイナー(前デザイン課課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
金子 朗子	エース株式会社 MD本部 デザインセンターデザイン課 マネージャー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
田島 智司	株式会社リーガルコーポレーション 開発設計部 設計課 課長代理	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③

◆教職員委員

相原 幸子	学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
野中 慶子	副学院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
門井 緑	第1グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
西平 孝子	第2グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
野原 美香	第3グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

宮原 勝一	第4グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
山田 とし子	第5グループ長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
大津 公幸	教育課程編成委員会委員長(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
川井 佐江子	教育課程編成委員会副委員長(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
伊藤 望	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
竹内 宏明	教育課程編成委員会委員(第5グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菅井 正子	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 麻衣	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉岡 君恵	教育課程編成委員会委員(第1グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
御田 昭子	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中澤 咲恵	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
佐藤 明彦	教育課程編成委員会委員(第2グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
松本 一代	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
中野 麗子	教育課程編成委員会委員(第3グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
菊池 明子	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
杉山 美和	教育課程編成委員会委員(第4グループ)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
小林 克也	教育課程編成委員会委員(学生課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
浜田 法子	教育課程編成委員会委員(教務二課長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
須藤 久栄	教務部長・教務一課長・生涯学習部部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
渡井 邦重	学務部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
吉野 真文	学園就職支援室室長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、11月)

教育課程編成委員会は、原則として企業等委員を含めた委員会を年2回以上開催することとし、令和元年度の開催日時は下記のとおりである。委員会は各科ごとの分科会形式で実施しており、より綿密な意見交換を行い、各科の特長を活かしたカリキュラムの設定および新規科目の開設や授業方法の改善、工夫を目指している。

(開催日時(実績))

第1回 令和元年6月27日 17:00～19:00

第2回 令和元年11月28日 17:00～19:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・フォトシューティングの重要性。

ECサイトなどスチル需要が多いのが現状。(歩きは少ない)

洋服の見せ方(ポージング)のバリエーションと表現力の強化。プラスαの提案が出来る人材を育てる為、トータルコーディネートとさらに連携しよりコーディネート力も高める。

・ビジネスマナー強化

モデルとして第一印象は大切。自分を売り込めるかは自己PR力やビジネスマナーが大切となる。

特別講義などで外部講師指導は受けているがまだ不足しているので強化するべき。

・意識改革

毎回ビデオを撮ることで、表情の見せ方、姿勢改善、スタイル変化など自分を見つめ直し、人に見られる事の意識づけし向上心を持たせる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携による実習・演習は、基礎的なカリキュラムを修学した後が有効であるとの考えから、実施時期は2年次以降とすることを基本としている。企業等の現場で実際に働いている方々より直接指導を受け、実習、演習を行う事により、実践的な知識・技術の習得を行う。同時に企業の現場でなければ得られない緊張感等から、実習内容以外の成果を挙げることも期待している。

以上を前提として、実習には担任または担当教員が同行し、単なる授業の委託とならないよう配慮をしている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ファッション流通科ファッションモデルコースにおいては、モデルとしての表現力と内面から出る魅力を培うという観点から、プロポーション美学において、モデルマネジメントから講師を招き、基本的な姿勢や歩き方など、モデルに必要なスキルを身に着ける実習を行っている。また操体・ヨガを取り入れることにより、正しい姿勢と呼吸法の習得と、体の歪みを矯正し柔軟性を向上させ、美しいプロポーション作りを目指している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
プロポーション美学A・B	自分の体形や第一印象を知ることから入り、自己分析を行う。表現力を身に付けながら基本的なモデルウォーキングの動きを習得する。基本を踏まえ、ショーや雑誌でのポーズ、また舞台でのウォーキング表現を実習し習得する。	株式会社アイスモデルマネジメント
操体・ヨガ	ホリスティックヘルスとしてのヨガ、呼吸法、瞑想法を通して、自己の心身の状態に目を向ける習慣を育てる。心身の調和と自己調整力を高め、自己の心身の健康管理や不調予防、ストレスマネジメントに役立たせる。体のしなやかさと精神面の安定を促し、内面からの美しさも磨く。	株式会社アストライア

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「ファッション流通科ファッションモデルコース」は幅広くファッションを理解し、スタイリング力と表現力を身に付けた幅広い分野で活躍できるファッションモデルの育成に取り組んでいる。  
 基本となるウォーキングや表現力の指導は外部講師が担っているが、ファッション全般の知識、スタイリング指導は本課程の専任教員が担当している。  
 自己表現ともなるファッションコーディネートの一部では、ヘアメイクも重要な要素となってくる。その基本的な技法を丁寧に指導していくことが必要となり、担当教員は学生の習熟度に対応した技術と専門知識が求められる。そのため、「専門力」、「人間力」、「指導力」の向上を目的とした研修を継続的に行う。  
 専門技術修得のための研修は、研究企画委員会が「研究企画委員会規程」に基づき、教員の知識や技術の向上と実務能力の向上を目指して毎年度研修を企画し、企業等から講師を招いて実施している。この研修については学校が研修費用を助成し実施するものと、個々のスキルに合わせ研修内容を教員個人が選定し実施するものがある。  
 指導力向上を目的とした研修は、一定の就業年数に達した教員に向け、学院事務局教務部が主催し、「教員研修規程」及び「教員の海外研修及び国内研修に関する規程」に基づき、指導力の向上・役割認識・資質の向上を目的として実施している。  
 また「文化学園職員研修規程」に基づき文化学園総務本部が研修を主催している。新入職員研修会では学園職員としての基本的知識や学園の歴史と現状、就業規則及び諸規則の理解、社会人としてのマナー等の内容の研修を実施している。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

当該学科は理想的なプロポーションと個性豊かな自己表現力、セルフプロデュースできるトータルファッション知識・技術を身に付けた人材の育成を行う学科である。  
 学内教員はトータルファッションの知識・技術におけるコーディネートやメイクアップの指導を担当している。  
 ファッショントレンド知識の向上に努めると共に、メイクアップにおける技術力、トレンドのメイク技法の修得のため、化粧品メーカーで主催する技術研修会等へ参加し、技術の向上に努めている。

研修名: 学校法人 文化学園 図書館主催 トレンドセミナー  
 (連携企業等: TREND UNION 家安 香 氏)  
 期間: 令和2年2月21日(金)  
 対象: ファッション流通科2年Fモデルコース科専任教員2名  
 内容: ファッション予測情報誌 トレンドユニオンセミナー

研修名: 美術アカデミー&スクール アートと心理学  
 (連携企業等: 東京芸術大学 准教授 林卓行 氏)  
 期間: 令和2年5月21日(木)  
 対象: ファッション流通科2年Fモデルコース科専任教員  
 内容: 精神分析、ゲシュタルト心理学などをキーワードにアートが心に与えるものを心理学の立場から明らかにする

研修名: 美術アカデミー&スクール アートと時間芸術  
 (連携企業等: 東京芸術大学 准教授 林卓行 氏)  
 期間: 令和2年5月21日(木)  
 対象: ファッション流通科2年Fモデルコース科専任教員  
 内容: 精神分析、ゲシュタルト心理学などをキーワードにアートが心に与えるものを心理学の立場から明らかにする

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「研究企画委員会 研修会 GoogleClassroom概要紹介、カレンダー活用方法」  
(連携企業等:文化学園 IT 戦略室 勝畑 尚貴 氏 )  
期間:令和元年9月4日(水)  
対象:本学全教職員  
内容:Classroomの概要、申請について

研修名:「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」  
(連携企業等:文化学園大学 教授 学生生活支援室 室長 菊住 彰 氏)  
期間:令和元年12月9日(月)  
対象:本学全教職員  
内容:私たちのそばにあるパワハラ — 働く意欲をたもっていますか

研修名:「文化服装学院主催 ハラスメント防止研修会」  
(連携企業等:公益財団法人21世紀職業財団 講師)  
期間:令和元年12月11日(水)  
対象:本学全教職員  
内容:キャンパスにおけるハラスメント防止のために講演

研修名:「薬物乱用防止について」  
(連携企業等:東京都福祉保健局 健康安全部 薬務課 職員)  
期間:令和元年12月19日(木)  
対象:本学全教職員  
内容:薬物汚染の実態や薬物の種類、入手方法、薬物乱用の兆候など

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:三菱一号館美術館 芸術鑑賞と脳 体で感じる美術と音楽  
(連携企業等:脳科学者/東日本国際大学 教授 中野 信子 氏)  
期間:令和2年8月28日(水)  
対象:ファッション流通科2年Fモデルコース科専任教員  
内容:音楽における鑑賞と、美術における鑑賞における脳科学の観点からみた違いについて

研修名:「ファッションワールド東京 2021秋冬 シーズントレンドセミナー」  
(連携企業等:f.f.b.株式会社 取締役 ビジュアル・アドバイザー 木村 麗 氏)  
期間:令和2年10月27日(火)  
対象:ファッション流通科2年Fモデルコース科専任教員  
内容:インスタ写真の撮り方【続編】いいね数5倍、売上も5倍に！

研修名:「ファッションワールド東京 2021秋冬 インスタグラムセミナー」  
(連携企業等:伊藤忠ファッションシステム株式会社 第1ディビジョン マーケティング開発第2グループ シニアプロジェクトマネジャー 浅沼 小優 氏)  
期間:令和2年10月27日(火)  
対象:ファッション流通科2年Fモデルコース科専任教員  
内容:ウィメンズ、メンズアパレルのシルエットや素材、カラー等にフォーカスした内容

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「知財を知る。知財で稼ぐ。(オンデマンド配信)」  
(連携企業等:独立行政法人 工業所有権情報・研修館)  
期間:令和2年10月9日(金)  
対象:本学全教職員  
内容:知的財産権の概要等を項目別に分類しオンライン上で視聴

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

文化服装学院は、グループ長会議の下部機関として委員会を設置している。その委員会のひとつとして、学校関係者評価委員会規程を平成25年4月1日より施行し、委員会を組織した。自己点検・評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関と位置付けている。委員会は、本学院が実施した自己点検・評価の結果について、検証・評価及び助言を行い、その結果を自己点検・評価規程に基づき、公表するものとしている。委員は、外部委員のみで構成され、本学院の教育理念・目標について理解し、人材育成等に有識のある学外の関係者の中から学院長が選考し、委嘱している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	文化服装学院の教育理念、人材育成像
(2) 学校運営	法人組織、事務職員の組織、教員の組織、意思決定機関、委員会組織
(3) 教育活動	学校のカリキュラム編成、課程・教科のカリキュラム編成状況、授業研究、ファッション流通科ファッションモデルコースのカリキュラム編成状況、授業研究、学外授業、学校行事、課外活動、退学者への対策
(4) 学修成果	教育・成績評価
(5) 学生支援	キャリア支援、資格取得支援、学生相談体制、経済支援・健康管理
(6) 教育環境	教室・講義室・実習室・研究室・事務室の整備・使用状況、機材・備品の管理状況、付属機関・施設
(7) 学生の受入れ募集	学生募集の状況、広報活動
(8) 財務	財務状況
(9) 法令等の遵守	法令遵守の状況・ハラスメント対策、諸規程の制定、学則、細則、内規等の整備、個人情報の保護
(10) 社会貢献・地域貢献	活動への支援状況、公開講座・教育訓練等
(11) 国際交流	留学生の受け入れ状況、合作校・提携校の状況、外部団体・機関との連携

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

2020年度は、2019年度の自己点検・評価報告書を資料として関係教職員との意見交換も含め、学校関係者評価委員会において外部評価を実施した。

学校関係者評価委員会は、本学院の教育活動の課題等の明確化に努めることを目的とし、本学院では指摘事項、提言を、同年及び次年度以降の教育活動その他の学校運営の改善に活用するために方策を検討し、実施に努めている。

2020年度の第1回学校関係者評価委員会は2020年10月20日(火)に開催し、委員会の活動方針、自己典型・評価の取り組み・評価項目・重点目標の説明、委員と関係教職員における質疑応答を行った。

第2回の委員会は、2020年12月18日(金)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い対面での実施を見送り、事前に文書で提出いただいていた各委員からの評価表をもとに意見をとりまとめた。

【本学院並びに本学科に対する評価および提言は以下の通りである】

1.ファッションを取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、教育内容等を見直すアクションを行っていくことを期待する。

2.法令遵守、ハラスメント防止の取り組みについては、概ね進んでいる。今後も世の中の動向を注視し、意識付け、啓もう活動を続けていくことが大切である。

3.ファッションを通じた社会貢献活動を継続していくにあたり、持続化に向けた仕組みづくりが求められる。

4.付属機関・施設や学生生活サポートなど、教育・学修支援の取り組みは充実しており評価できる。研究・対外活動による成果を、カリキュラム、授業に取り入れるスキームの構築に期待する。

5.就職先として、既存のファッション、アパレル業界のみならず、社会の多様性に対応し、新たな業態業種の開拓とそれに対応したキャリア教育の構築といった、視野を広げた取り組みに期待する。

6.随時カリキュラム編成の見直しをするスキームがあり、実践的なカリキュラムで学生のモチベーションアップが図られており評価できる。

7.活発な学外活動は重要な取り組みであるが、本分である学業との参加学生におけるバランス、教員への負担など様々な観点から検証、吟味し、継続していくことが必要である。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
----	----	----	----

徳岡 敬也	株式会社トークス 代表取締役 文化ファッション大学院大学専任教授	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼有識者
芦川 照和	株式会社SUNデザイン研究所 プロデューサー	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
中本 文太	株式会社TSIホールディングス 管理本部 人事部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
松本 ルキ	株式会社オールファッションアート研究所	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
木島 広	株式会社フクル 代表取締役 人事部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員兼卒業生
矢野 剛	株式会社織研新聞社 取締役 編集局長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	関連業界委員兼有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(~~ホームページ~~ ・ 広報誌等の刊行物 ・ ~~その他~~(冊子を発行。教職員・学校関係者評価委員等、また希望者に配布)

[https://www.bunka-fc.ac.jp/\\_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf](https://www.bunka-fc.ac.jp/_wp/wp-content/uploads/2020-school.pdf)

公表時期:令和3年2月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページによる情報提供を基本としている。ホームページは企業等のみを対象とせず、視覚的効果を意識した構成となっているが、ガイドラインに沿った項目を列記したページ(下記URL)を設け、当該項目の情報に遷移する仕組みとなっている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校の概要」
(2)各学科等の教育	ホームページ「各学科の教育」
(3)教職員	ホームページ「教職員」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「キャリア教育・実践的職業教育」
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校行事・課外活動」
(6)学生の生活支援	ホームページ「学生支援」
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「学生納付金・修学支援」
(8)学校の財務	ホームページ「財務」
(9)学校評価	ホームページ「学校評価」
(10)国際連携の状況	ホームページ「国際連携の状況」
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(~~ホームページ~~ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL:<https://www.bunka-fc.ac.jp/about/outline/>